

「蔵王町人口ビジョン」及び「蔵王町まち・ひと・しごと創生総合戦略」【概要版】

人口ビジョン

蔵王町人口の動向

- ①総人口は減少傾向であるが、総世帯数は増加しており、核家族化が進行。高齢者人口は年々増加
- ②自然増減は、死亡者数が出生者数を上回る「自然減」の状態。死亡者数は増加傾向、出生者数は緩やかな減少傾向。平成26年は死亡者数が約130人超過
- ③社会増減（転入・転出数）の推移は、概ね横ばい状態。平成26年は転入数が2人超過。転入・転出ともに25～39歳が多い。
- ④合計特殊出生率（ベイズ推定値）は、1.41。全国1.38、宮城県1.29より高い値であるが、低下傾向
- ⑤未婚率（20～39歳）は上昇傾向、全国52.1、宮城県50.3を上回り54.4%

蔵王町将来人口の推計

国の推計（国立社会保障・人口問題研究所）

2010年	12,882人
2015年	12,304人（高齢者人口割合31.9%）
2025年	11,019人
2040年	9,062人
2060年	6,425人（高齢者人口割合46.4%）

蔵王町人口の将来展望

蔵王町人口の将来展望

2060年（平成72年）の目標人口：8,000人

定住促進施策等の推進による社会増を図り、さらに合計特殊出生率が2025年まで1.62、2040年まで2.1に上昇するよう子育て支援等の充実を図る

まち・ひと・しごと創生総合戦略

～ 蔵王町が目指すべき将来の方向【2060年の遠方目標】 ～

1. 蔵王が持つ自然の恵み、自然の豊かさを活かしたこれからの時代にふさわしい新たな雇用・安定した雇用が生まれる町を実現
2. 蔵王町に暮らすことに誇りと希望が持てる町を実現
3. 若い世代の結婚・出産・子育てに対する切れ目のない支援と、地域で子育てを支える町を実現
4. 町民が安心して住める町・町外の人が期待感を持って来訪できる魅力ある町を実現

基本目標と主な取組

計画期間：2015年度（平成27年度）～2019年度（平成31年度）

基本目標1：安定した雇用を創出する

数値目標：企業進出・創業支援・新規就農等による雇用機会創出数100人

- 農業・地域産業の競争力強化
 - ・地産地消の推進
 - ・農畜産物の生産振興と6次産業化の推進
 - ・都市交流型農業の推進
 - ・ふるさと納税制度の活用
- 新たな創業・進出企業に対する支援の充実
- 観光地域づくりの推進
 - ・観光振興体制の整備
 - ・観光宣伝の強化
 - ・広域連携による観光事業の推進
- 高齢者・障害者が活躍できる社会の実現
 - ・高齢者の生きがい対策
 - ・障がい者の就労支援

基本目標2：蔵王町への新しい人の流れをつくる

数値目標：年間転入者数400人（H26 378人）

- 移住・定住促進施策の充実
 - ・空き家等を活用した移住者支援
 - ・地図情報システムを活用した空き家情報の提供
 - ・移住希望者への情報提供の強化（蔵王町別荘協議会との連携）
 - ・住宅新築・リフォーム費用助成制度の創設

基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標：合計特殊出生率1.5（H24 1.41）

- 子育て支援の充実
 - ・保育サービスの充実：保育時間の延長
 - ・子育て環境の整備：子育て支援センターの整備
 - ・子育て家庭の経済的支援の充実
 - すこやか養育助成金、乳幼児紙おむつ購入券の拡充
 - 子ども医療費助成制度の拡充
- 婚活事業の推進
- 未来を担うひとづくり：教育環境向上のための小中学校統合

基本目標4：時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る

数値目標：住みやすい町だと思える町民の割合75%（H27 68.7%）

- 地域公共交通の確保
 - ・JR東白石駅周辺環境整備、地域公共交通の利便性向上
- 災害に強い地域づくりの推進
 - ・自主防災組織の育成
 - ・消防団等の育成強化
- 安全・安心に暮らせる地域社会の推進
 - ・交通安全・防災対策の充実
 - ・高齢者等見守り体制の推進
- 住民の主体的な地域づくりとコミュニティ活動の支援